

天溪 2023 年「ツール・ド・モンブラン 10 日間」

「ツール・ド・モンブラン 10 日間」を7月4日～7月13日に行いました。

日本中がコロナに揺れていた昨夏、アルプスからはハイカーの大幅な増加情報が有りました。2月初めにツールドモンブラン(TMB)の山小屋手配をしたところ既に満室、キャンセル待ちでビックリ。偶然モッテ小屋に空きが出て、エレナ小屋かボナッティ小屋も空きが出たらベストなどと思いながらホテル&ロッジ泊を絡め準備を進めました。天溪は山小屋泊が減っても歩く行程はほとんど変わりません。

今年は晴天続きで、気温が高く、空気は乾燥し、後半バテ気味の方もおられましたが、ホテル泊が増えた分シャワーと美味しい食事で体を休められ、まあ結果的に良かったな？などと勝手に思っています。それにしてもハイカーが多いこと。一般ハイカーに交じりインド、韓国のツアーや夏休みの学生が目立ちました。 ※まず写真をご覧ください。



(グランドジョラス 7月7日)

○シャピュー〜クールマイユール

出発初日はモッテ小屋。シャモニから車でシャピューに向かい、シャトルバスでグレシエールに移動して入山。時間に余裕があったのでシャピュー手前で下車し、綺麗なお花畑の中をボンノム小屋手前まで足慣らしの往復ハイキング。

モッテ小屋からクールマイユールはフランス/イタリア国境のセーニュのコルを越えて行きます。コルでモンブランと対面し、ベニの谷へ下る途中では山肌一面を紅く染めるアルペンローゼの群生が見事でした。

エリザベッタ小屋を左斜め上に見ながらコンバル湿原へ下り、さらにバス停のビザイルへ。一方、コンバル湿原からシェクルイのコル方面に登り、凛々しいイタリア側モンブランを眺めるコースもありますが、モンブラン山頂が雲の中、また皆様お疲れの様子でこのルートは諦めました。



(シャピュー周辺 7月5日)



(セーニュのコル)



(モンブラン遠望)



(エリザベッタ付近のお花畑)



(山染アルペンローゼ 7月6日)

○クールマイユール～シャンペ

ここはクールマイユール、ボナッティもしくはエレナ、シャンペへと繋いでゆくのがベストのコース選択。しかし山小屋手配が出来ずクールマイユールのホテルに連泊してシャンペに。行程を補う為にラバシーから逆回りにボナッティ、デルトーネを通る展望ハイキングを楽しみました。そして翌日、アヌーバからイタリア/スイス国境のフェレのコルを越えてフェレ村に下り、セントバーナードバスでシャンペへ。こう書いても読者の皆様には分かりづらいかも知れませんが、トレイルはイタリアやスイス側の急峻なモンブラン山群を眺める美しいルートです。ちょっと残念なのは何故か小さな寒冷前線の通過でモンブラン山頂が早めに雲で覆われた事でしょうか。



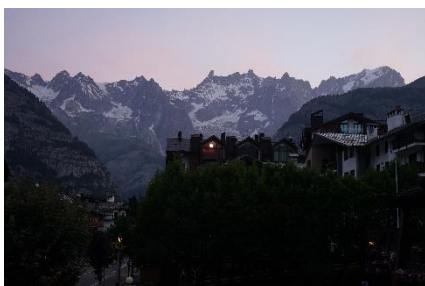
(ボナッティ小屋付近 7月7日)



(デルトーネ小屋へ)



(アルペンローゼ)





(グランドジョラス・左側)

○シャンペ〜トリアン〜シャモニ

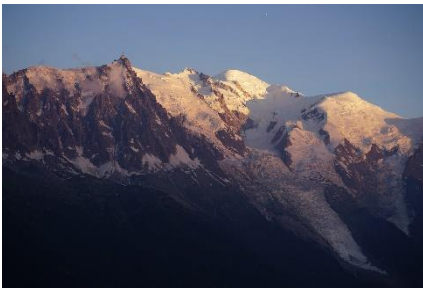
シャンペからトリアンは樹林帯を歩きます。今までの俊峰な山並みが一転し、森林や牧歌的な風景が続きます。とは言え結構距離が有り歩行約 8 時間余り、まあ TMB はこんなもんでしょう。

トリアンからル・トゥールに向かうにはスイス/フランス国境のバルムのコルを越えて行きます。コルでは再びモンブランがシャモニ谷、アルペンローゼの賑わいと共に現れました。ここを下って旅を終えるのが一般的ですが、天溪はフレジュールにロープウェーで登り、これも偶然手配出来たフレジュール小屋に一泊。夕焼けのモンブラン山群を楽しみ、翌日プランプラ迄ハイキングして旅を閉めました。



(モンブラン再会 7 月 10 日)





(アルペンローゼの群生)

天溪 赤沼